



平成23年度
バリアフリー・ユニバーサルデザイン
推進功労者表彰
受賞事例集

Barrier Free Universal Design



内閣府



共生社会政策



平成23年度 バリアフリー・ユニバーサルデザイン 推進功労者表彰受賞事例集の刊行にあたって

内閣府では、誰もが利用しやすい施設整備や製品開発などの活動を広く促進し、普及させるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインの優れた取組に対して表彰を行っています。

今年度の内閣総理大臣表彰を受賞された「ケージーエス株式会社」は、視覚障害者向け情報機器の開発に積極的に取り組み、視覚障害者の日常生活の質の向上や社会参加の一助を担ってこられました。長年にわたる地道な取組の積み重ねが、素晴らしい成果へとつながっているものです。

また、内閣府特命担当大臣表彰優良賞の5件、そして同奨励賞の1件につきましても、それぞれ、全国各地で参考にしていただきたい優れた活動を行ってきた企業・団体が選ばれています。

国など行政だけではバリアフリー・ユニバーサルデザインを普及させることはできません。関係機関、関係者が広く本事例集をご活用され、様々な分野においてバリアフリー・ユニバーサルデザインへの理解と関心を深め、「共生社会」の実現に向けた心温まる活動の輪が広がっていく一助となりますことを期待いたします。



平成23年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰 表彰式

平成24年3月
内閣府

内閣府特命担当大臣表彰 優良賞

山梨県推薦

株式会社 富士レークホテル

(山梨県南都留郡)

「人にやさしいホテル」を志向し、車イスの人なども使いやすい工夫を凝らした客室の増設、バリアフリー・ユニバーサル対応専用貸切風呂の開設などハード面に加え、ソフト面でもユニバーサル備品無料貸出の拡充と共に、食のユニバーサルにも取り組む「ユニバーサルホテル」の実現に尽力。

同ホテルが初めてバリアフリー・ユニバーサルデザイン（以下BF・UD）ルームを設けたのは、交通バリアフリー法施行前の平成11年であった。

マーケティング分析から「高齢化する社会情勢」を睨みつつ、尚且つ社会的企業として「障害をお持ちの方も分け隔てなく受入れさせて頂くことが、ホテル業に従事する者に課せられた責務である」という理念に基づき、7種類・23室のBF・UDルームと3種類のBF・UD貸切風呂を整備した。

10年以上に渡って取組んできた結果、国内宿

泊施設との比較では類をみない圧倒的なBF・UD対応温泉宿泊施設が実現した。

現在においても、ハード面のBF・UD化だけでなく、ソフト面においても対応を強化させる為、お客様アンケートやお客様からのヒアリングを日々行い、スパイラルアップによる改善活動を繰り返している。

特に「UD備品」の設置と「食のUD化」については個々のお客様のニーズにきめ細かく対応すべく予約段階からきめ細かい対応をしている。



UDルームの客室風呂(河口湖温泉引き湯)



食事のユニバーサル対応(きざみ食、ミキサー食など)